

編集後記

編集後記を書いている 2025 年 8 月は、記録的な猛暑の最中にありながらも、朝夕は、虫の声とともに少し涼しく感じることも。夏至から 2か月、確実に季節は進み、夜長の秋に向かいつつあります。

2024 年度末には新型コロナウィルス禍の 2 年目、2021 年度に入学した学生を送り出しました。受験の時に、コロナ禍の真っただ中にいた学年です。人格形成の上でも大切な 20 歳前後をコロナ禍の中で過ごした学生たちと思うと、目頭が熱くなっています。本年報が収録したのは、2020～2024 年度というまさにコロナ禍の厳しい条件下の教育、研究活動の記録です。極端に制約された前半の 3 年間と活発な活動を取り戻しつつある後半の 2 年間の一連の記録を見ていただければ幸いです。

理学部は、大学設置基準の改正への対応のために改組を先送りし、再検討を始めています。本年報が今後の理学部・理学研究科の教育研究活動の改善・改革の一助となることを願ってやみません。

2012 年度版からスタートした理学部・理学研究科年報は、2024 年度版で 13 巻目となりました。『理学部・理学研究科の年報 2024』の編集については、編集委員である 2024 年度の学科主任の先生方、研究科長、藤島教務三課課長補佐はじめ、関係者の皆様方に多大なご協力をいただきました。有り難うございました。本年報は理学部ホームページに pdf 版で掲載するとともに、ISSN 日本センター（国立国会図書館）に登録し、学内のみならず学外の方々も閲覧できるようにしています。尚、2016 年度版までは紙媒体と Web で公開していましたが、2017 年度版からは、紙媒体での公開を廃止し、Web だけで公開しています。

(2025 年 8 月 25 日 林 政彦 記)

編集委員

林 政彦 (理学部長)
香野 淳 (理学研究科長)
佐藤 拓 (応用数学科)
固武 慶 (物理科学科)
勝本 之晶 (化学科)
西 憲敬 (地球圏科学科)
藤島 英俊 (教務三課)